

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	堀口発達支援センターひかり		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 1月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年2月12日		2026年2月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の障害特性に合わせたワークシステムや構造化の導入。	スケジュールや活動のルールを視覚ツール使用し提示している。言語表出ない子に絵カードの使用や活動場所を明確にしている。	さらに構造化を進めるため、支援ツールの作成や構造化を進めていく。
2	児童が楽しみながら療育できるよう行事の企画。保護者への支援としての行事の企画。	年間行事・月行事・季節の行事を企画し、児童が楽しみながら活動のルールを習得できるようにしている。茶話会を定期的開催。親子行事も年1回開催している。	今後も児童や家族から聞き取りし、児童が楽しめる行事を企画していく。また保護者間の交流ができる機会を設けていく。
3	専門的支援の実施。	言語聴覚士・理学療法士・作業療法士定期的に来所し、訓練実施している。木曜日に絵画教室の先生来所している。	今後も継続していけるよう連携を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇時の活動場所の確保	放課後等デイサービスの児童と児童発達支援の児童と一緒に名になった際、活動場所の確保が難しい時がある。	建物を増やすことは難しいので、外活動等をうまく組み合わせるなど活動内容や個々のスケジュールの配慮が必要。
2	日によって送迎に時間がとられることがある。	七戸町やおいらせ町など広範囲に学校がある。	送りとお迎えを繋げたりしているので、車両の台数を増やすことを検討している。
3	ICT化。	ケース記録や連絡帳の記載に時間がかかる。	事業所の業務に対応できるソフトの導入。